



2013湖っ子食育大賞

大賞は、日野町立必佐小学校に決定！

滋賀県教育委員会では、児童生徒が正しい食事のとり方や望ましい食習慣を身に付けられるよう、学校を中心に計画的・継続的な食に関する指導の充実を図るとともに、家庭・地域とも連携した食育を推進しています。

平成19年度に学校や園の特色を生かした優秀な食育の取組を表彰する「湖っ子食育大賞」が創設され、平成25年度は、県内から23校園の応募があり、審査の結果、食育大賞は日野町立必佐小学校に決定しました。

～受賞校の概要～



大賞 日野町立必佐小学校

今年度は『食に対する理解を深め、望ましい食習慣を身につけよう』をテーマに、次のような取組を進められました。

主な取組としては、①家庭への啓発と連携を基にした朝食摂食率の向上と生活リズムづくり ②日野菜やもち米作りなどの栽培体験活動 ③食育の日における食についての学習やなかよし給食等です。

その結果、5年生対象の朝食摂食率調査では、H20年度は86.1%でしたが、近年96%～100%を保持するようになりました。給食委員会の残菜調べ等の取組により、現在は残菜量が半分ほどに減少しています。給食試食会では、保護者の食への関心が高まり、参加者は4年前に比べて2倍以上に増加しました。



優秀賞 彦根市立河瀬小学校

家庭だけではなく、調理員、地域の方、企業の出前授業を活用するなど様々な立場の方と連携を図りながら、今年度は『健康でたくましく生きる河瀬の子の育成 ～人とのかかわりや体験活動を中心とした食育～』をテーマに、次のような取組を進められました。

主な取組としては、①調理員との給食交流 ②児童の体験活動を中心とした食に関する指導の実施 ③家庭と連携した「早寝・早起き・朝ごはん」運動等です。

その結果、児童の体験活動が充実し、食べることへの興味・関心が深まりました。わが家のおすすめ朝ごはんレシピに多数の応募があり、配布された朝食レシピを活用した家庭が全体の1/4以上を占める等、家庭での食に関する意識も今まで以上に高まりました。



優秀賞 長浜市立七郷小学校



『食への興味・関心から、望ましい食習慣の実践へ』をテーマに、次のような取組を進められました。

主な取組としては、①全校で食のウォークラリーを中心とした児童会活動 ②栄養教諭と連携した食に関する指導の実施 ③お花見給食やお誕生給食等の食を楽しむ活動等です。

その結果、児童一人ひとりがより食への興味や関心を深めることができました。栄養教諭と連携した食に関する指導後には、5年生の朝食アンケート調査の結果では、「ごはんだけ」「パンだけ」と答えた児童が36%→27%に減り、「ごはん・汁物・おかず」と答えた児童は、37%→64%に増加しました。



優秀賞 甲賀市立佐山小学校

『食と健康 人と交流 ～感謝！ 自然の恵みと地域の方に～』をテーマに、次のような取組を進められました。

主な取組としては、①地域の食材を教科等において「調べる」「育てる」体験を通して命の大切さを学ぶ ②栄養教諭による専門性を生かした指導の推進 ③食を通して学校・家庭・地域との交流と絆を深める等です。

その結果、栄養のバランスに興味をもち、児童の食への関心が深まるとともに、給食の残りもほとんどない残食ゼロの日が続きました。作物を育てる活動では、地域の食材に興味関心をもち、収穫の喜びや地域の人々への感謝の気持ちが芽生え、地域との交流も深まりました。



優秀賞 豊郷町立豊郷幼稚園

『「育てる」「作る」「食べる」活動から食への関心をもち食べることの楽しさ、食べることの大切さ、食べられることへの感謝の気持ちを育む』をテーマに、次のような取組を進められました。

主な取組としては、①豊郷の特産物を育て、収穫し、調理する活動 ②食育だよりによる家庭への啓発活動 ③健康推進委員の方と共に行う親子料理教室の開催等です。

その結果、食物や作ってくださる方に対する感謝の気持ちが芽生えたり、苦手だった食材も食べようとする姿が見られたり、偏食を克服した児童も見られました。保護者の「食」に対する関心が高まり、子どもと一緒に料理する機会を増やす家庭ができました。



～『まるごと“おうみ”食育推進表彰式』受賞の様子～

2月3日(月)に開催された『まるごと“おうみ”食育推進表彰式』において、上記の5校が食育大賞および優秀賞を受賞されました。
表彰式終了後、「食育三行詩コンクール」の受賞者とともに記念撮影が行われました。



〈 湖っ子食育推進事業 支援・協力 〉
公益財団法人 滋賀県学校給食会 (副賞)
県立信楽高等学校・県立瀬田工業高等学校 (表彰楯制作)

(スポーツ健康課 Tel 077-528-4614)